

イタリア語 活用ドリル 直説法半過去



目次 / Indice

ドリルをはじめる前に 活用を覚える秘訣.....	2
1日目 規則動詞 (実力チェック)	4
2日目 規則動詞 (解説)	5
3日目 規則動詞 (練習問題①)	6
4日目 規則動詞 (練習問題②)	7
5日目 規則動詞 (練習問題③)	8
6日目 規則動詞 (練習問題④)	9
7日目 規則動詞 (練習問題⑤)	10
8日目 規則動詞 (確認テスト)	11
9日目 完全な不規則 essere.....	12
10日目 やや不規則 古形から作る fare.....	13
11日目 やや不規則 古形から作る dire/bere.....	14
12日目 やや不規則 古形から作る produrre/porre.....	15

ドリルをはじめる前に 活用を覚える秘訣

秘訣 1. 半過去の活用もL字で考える

直接法現在の活用を学ぶときに、「動詞の活用はL字で考える」と解説しました。これは半過去を学ぶときも同じです。

例えば、半過去を学ぶときはアクセントの位置で混乱する方が多いです。特に3人称複数のアクセントは、andavanoは「アンダヴァーノ」？「アンダーヴァノ」？ と考え込んでしまう人が少なくないようです。

ここで、下のようにAグループ (L字型) と Bグループに分けて考えみましょう。アクセントの位置をよく観察してください。

amare 意味: ~を愛する		Bグループ	
io	amavo アマーヴォ	noi	amavamo アマヴァーモ
tu	amavi アマーヴィ	voi	amavate アマヴァーテ
lui	amava アマーヴァ	loro	amavano アマヴァーノ

Aグループ(L字型)

Aグループでは語幹に、Bグループでは活用語尾にアクセントが来ています。

これは、半過去の loro の活用(3人称複数)が、3人称単数の活用(luiの活用)に「no」を足して作られているためです。

ちなみに、この知識は9日目で essere の半過去を学ぶときにも役に立ちます。ぜひここで頭に入れておいてください。

(中略)

3 日目 規則動詞(練習問題①)

【問題】活用表を埋め、その動詞を()に入れて活用させましょう。

parlare 意味:			
io		noi	
tu		voi	
lui		loro	
<p>1) Di che cosa ()? (君たちは)何の話をしていたの?</p> <p>2) () proprio di te! ちょうど君の話をしていたんだよ!</p>			

volere 意味:			
io		noi	
tu		voi	
lui		loro	
<p>3) Da bambina () diventare ballerina. 小さい頃私はバレリーナになりたかった。</p> <p>4) Mio padre () studiare all'estero. 私の父親は留学したかった。</p>			

【解答】アクセントの位置は下線で表示しています。

parlare:話す		volere:~したい、~が欲しい	
par <u>l</u> avo	parlav <u>a</u> mo	vol <u>e</u> vo	vol <u>e</u> vamo
par <u>l</u> avi	parlav <u>a</u> te	vol <u>e</u> vi	vol <u>e</u> vate
par <u>l</u> ava	parlav <u>a</u> no	vol <u>e</u> va	vol <u>e</u> vano

1) parlavate 2) Parlavamo 3) volevo 4) voleva